

## 世界に広がる DAAD ドイツ・ヨーロッパ研究センター

(渡部聡子 訳)

ドイツ学術交流会 (DAAD) はドイツ連邦共和国外務省などから助成を受け、世界12か国の大学に設置されている計20に及ぶドイツ・ヨーロッパ研究センターを支援しています (2020年5月現在)。その学際的なセンターは、ドイツとヨーロッパの専門家を育成するとともに、ドイツとヨーロッパに関連する学問、政治、社会を結び付けています。

### 沿革

1990年、当時の連邦政府の主導のもと、独米関係の構築、とりわけ、学問的な連携を強化する目的で、米国のカリフォルニア大学バークレー校、ハーバード大学、ジョージタウン大学に、横断的研究拠点として最初の3センターが設立されました。1990年代半ばには、英国のバーミンガム大学でドイツ研究センターがヨーロッパ初のセンターとして開設され、1990年代末には、米国の東部、中東部とカナダにも多くのセンターが続きました。2000年、東京大学にセンターが開設されたことで、大陸を超えた次なる一步が実現しました。

2001年にはフランスで全国的なネットワークを組織する学際的ドイツ研究センターと、アムステルダムドイツ研究センター (オランダ) が加わりました。その翌年には、当時のゲルハルト・シュレーダー連邦首相の主導のもと、ポーランドのヴロツワフにヴィリー・ブランド・センターが設置されました。ロシアではサンクト・ペテルブルク国立大学、中国では北京大学で、個別の二国間大学協力が、ドイツのプロジェクトパートナーとの学際的センターへと発展しました。翌年には、イスラエルのエルサレム・ヘブライ大学とハイファ大学で2つのセンターが設立されました。さらに韓国の中央大学校 (ソウル) にもセンターが開

設されました。

2016年には、ケンブリッジ大学 (英国) の研究センターに、ドイツ研究の拠点となるネットワークが新設されました。2017年に開設された最も新しいセンターは、ブラジルのボルト・アレグレにあるリオグランデ・ド・スル連邦大学 (UFRGS) と、リオグランデ・ド・スル・ポンティフシア・カトリック大学 (PUCRS) の協力プロジェクトにより実現しました。このプログラムの重要な原理は、DAADからの補助金に加え、ホスト大学も共同で資金を提供するという「マッチング・ファンド」の原則です。

### 目的

ドイツ・ヨーロッパ研究センターの主要な目的の一つに、ドイツとヨーロッパに関する優れた洞察力を備え、学問的、社会的な議論に世界各地で貢献できる新しい世代の専門家を育成することがあります。従って、各センターで修士課程、博士課程の学生にそれぞれ提供されるプログラムを通じた教育が、重要な役割を担っています。

もう一つの重要な使命は広報・助言活動です。センターは、ドイツとヨーロッパについて、研究・教育の領域だけではなく、政府などの公的セクターに対する政策諮問活動においても、積極的に助言を行い、センターが立地する地域を照らし出す灯台としての機能を担うことが期待されます。

主要なテーマは戦後と現代ドイツ、欧州統合です。無論、語学支援プログラムを通じたドイツ語の促進も目的の一つです。センター相互のネットワーク、センターとドイツの研究・教育機関とのネットワークを強化し、さらなる超域的な協力関係の構築を目指しています。

参照: DAAD ホームページ (<https://www.daad.de/de>)